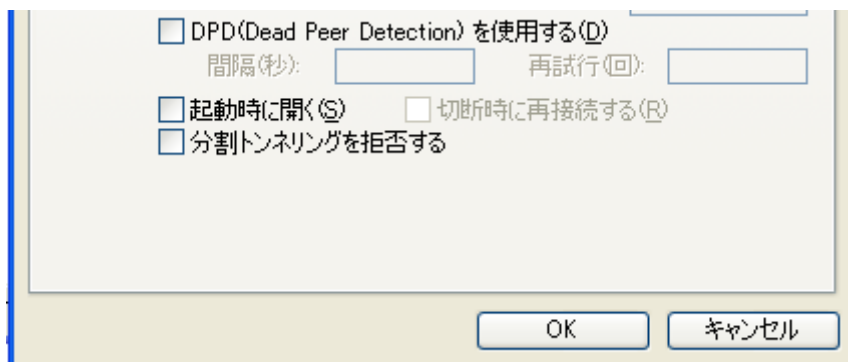


3.4 その他のオプションの利用

作成したVPN接続設定の詳細タブにあるデフォルトでは無効となっている以下のオプションをそれぞれ利用することができます。利用に際しては事前に動作の確認を行いその有効性を確認するようにしてください。



・ DPD (Dead Peer Detection) を使用する

VPN通信の有効性をリアルタイムで検知することを目的にDPDを利用することができます。例えば、無通信時にVPN接続がなんらかの理由で切断がされても自動的に復旧を開始し、また接続先から応答がないと判断された場合は該当するSAの情報を削除します。

・ 起動時に開く

OSが起動するのとほぼ同じタイミングでVPN通信も行いたい場合に利用します。

・ 分割トンネリングを拒否する

デフォルトではVPN接続時はVPNの通信しか行うことはできません。例えば、VPN通信を行いながら通常の通信も許可する場合（例、支社から本社にVPN接続を行い、かつ支社内のファイルサーバとファイル共有をする等）には分割トンネリングを有効にします。ただし、セキュリティのレベルは落ちることになるため、利用については十分注意をしてください。